

これからのAI時代に必須の「自ら思考する」学び



▼お申し込みはこちら



研修申込み

【申し込み締切】2026.7.13(月)

※いずれの研修もこちらからお申込みいただけます。

生徒が変わる 本気の探究

【2026年度 中学・高等学校教員対象】 探究研修（国際情報分析）

【ベーシック】2026年8月11日(火/祝)－12日(水)

探究演習：「国際情報分析」実践コース（1泊2日）

※生徒目線で体感いただき、国際情報分析による探究手法の修得をめざします。

【アドバンス】2026年8月10日(月)－12日(水)

探究指導：サブモデレーター育成・実践コース
(1日コース or 2泊3日コースから選べます)

※1日目は探究指導に係る講義、2-3日目は探究指導のサブモデレーターに挑戦いただきます。

「国際情報分析」
経験者対象

○開催場所：関西学院千刈キャンパス
(兵庫県三田市香下1817-1)

○最寄り駅「JR福知山線 三田駅」から
送迎バスを運行予定

○会場には駐車場の用意もごぞいます

主催：関西学院大学国際学部 關谷研究室

共催：関西学院千刈キャンパス

電話：079-563-5233

メール：campsengari@kwansei.ac.jp

2026年度 探究研修（国際情報分析）

【ベーシック】

探究演習：「国際情報分析」実践コース



国際情報分析
参加者の声

【日程】2026年8月11日(火/祝) - 12日(水)

【参加費】10,000円 (+別途テキスト代)
(食費・宿泊費・保険料等含む)

【定員】20名程度

【内容】

○導入講義

- ・国際情報分析（知の探究合宿）とは
- ・AIによる未来社会と情報分析の意義
- ・情報のカラクリ（調べ学習との違い）
- ・国際情報分析の探究手法の説明

○演習：国際情報分析（グループワーク）

1. 課題の全体像の把握
2. キーとなる情報の選択（論点決め）
3. 個別の情報の収集と分析
4. 個別の結果の統合
5. 最終判断に向けての考察
6. プレゼンテーションの作成

○成果発表にあたっての指導のポイントを共有

○探究成果のプレゼンテーション

○指導するにあたっての教育実践・指導ノウハウ ならびに評価の仕組み等

兵庫県立国際高等学校
山田祐史先生

未知の課題の答えを導き出す事は本当に楽しく、まだまだ続けたいと思ってこの合宿の2日目を終える所です。こんな気持ちを生徒にも味わわせたいと感じた研修になりました。探究活動を行っていく上で、教員の準備は非常に重要だと感じましたし、生徒へのアプローチや探究心をくすぐるためには、私たちも常に学び続ける(学びたいと思いつける)ことが生徒への成長に繋がっていくと感じました。

この経験を確実に生かし、本校の探究活動のモデルを作成できるように尽力していきたいと思っております。



【アドバンス】

探究指導：サブモデレーター育成・実践コース

< 1日コース >

【日程】8月10日(月)

【参加費】2,500円 (+別途テキスト代)
(食費・保険料等含む)

【定員】10名程度 (※コース全体の定員)

【内容】

○導入講義

- ・国際情報分析の意義と目的
- ・サブモデレーターの役割
- ・テーマの選び方
- ・事前準備と学びの環境づくり他

< 2泊3日コース >

【日程】8月10日(月) - 12日(水)

【参加費】13,000円 (+別途テキスト代)
(食費・宿泊費・保険料等含む)

【定員】10名程度 (※コース全体の定員)

【内容】

○導入講義：同左

○演習：国際情報分析サブモデレーター実践

※サブモデレーター育成・実践コースは、国際情報分析を受講した経験がおありの方を対象としております。

主な研修講師



關谷 武司

Takeshi Sekiya

関西学院大学 国際学部 教授 博士(学術)
専門は教育社会学 (教育開発)
JICA派遣専門家として、技術協力
プロジェクトの立案、運営、評価を実施

高校生向け探究プログラム実施に係るご相談はこちら▼
お問い合わせ：関西学院大学 国際学部 關谷研究室
メール：n.yoshida@kwansei.ac.jp

探究学習にお困りではありませんか？

高校生向け「国際情報分析」やAI時代における探究プログラムの提供をおこなっております。「生徒が変わる探究」にご興味ご関心をお持ちいただけましたらぜひご相談ください。

